



## 三婆物語（現代版）

### ■ 大川加世子

おばあちゃんたちも助さん格さんの振分け荷物ならぬショルダーアイパッドを肩に掛け、いざ旅に……で、超人気のスカイツリーとやらを目指した 89 歳, 85 歳, 82 歳 (私), この三婆たちに「おばあちゃんと一緒にアイパッドの本を作りませんか」。物好きな出版社からこんな申し出があったのは 2012 年冬 2 月, そろそろ婆たちも冬眠から覚める頃でした。当会は基礎や理論より, まず楽しく遊ぼうが先, 到着するや, 思いっきり反っくり返しイナバウアー, でやっとアイパッドに 634m が納まり, スカイツリー全身の撮影成功。次は浅草, 人力車のお兄さんには「ちょっと待って, アイパッドで見物場所の検索を」。何とまあ世の中の変ったこと, でも爺婆はこれからも一生懸命に世間様について行きますよ。本も 5 月末にできました, お転婆三婆をご覧ください。振り返れば今から 16 年前, 高齢者とパソコンはまだ世の中に認知される前, パソコンは仕事用, でも私はパソコンのもう一つの大きな役割を見つけたと思っておりました。

今後増え続ける高齢者が, 孤立せずに元気で生きていくためのツールになって, パソコンはなくてはならない時代が必ず来ると思いました。北海道から沖縄宮古島まで, 外国で歳を重ねた日本人高齢者たちも, 誰もが朝起きるとパジャマのままです。まずパソコンの電源, 井戸端会議ならぬパソ端会議の賑やかなメール交流。新人が「メールのシャワーに潰される」と悲鳴を上げ, 仕方なく「一日 3 通までね」と制限, それでも話の中に割り込んでくる, そん

■ 大川加世子  
コンピューターおばあちゃんの会 代表

1930年東京生れ。終戦後AIUジャパン社創立入社、3年後結婚退社。輸出草創期のトヨタ自動車輸出部に入社、3年後出産退社。AIUフランスに1年出向。50年間のカーライフ後、1997年国内外の高齢者をネットで結ぶ「コンピューターおばあちゃんの会」設立、16年目に突入。 <http://www.jjibaba.com>  
著作「おばあちゃんのパソコン指南」(1998, 筑摩書房)、監修「コンピューターおばあちゃんといっしょに学ぶ はじめてのiPad入門」(2012, アスキーメディアワークス)。「コンピューターおばあちゃんといっしょに学ぶ facebookで『デジタル自分史』を作る」(2012, アスキーメディアワークス)。



な時には「どびんしまーす」の一声で和やかに。皆様、土瓶の形をご想像ください、横から口が出ているでしょう、どびんどびんで話が広がりおひとり暮らしの方々にはこの人っ気が何とも嬉しいようです。夜は昼間に写した写真が一斉にメーリングリストにお披露目の時間、それゆえ、当会の爺婆ちゃんたちは昼間電話しても誰も留守、これを私は「出たきり老人」と呼びます。

メールがライフラインとなって久しいです。楽しく過ごすことが何よりの予防医学です。無縁時代、絆を深めるにはネットに招き入れるのが早道、で家から出てこないシニアたちをとにかく引っ張り出したいけれど、「そんな難しいこと無理」と頑固者たち、仕方なく爺婆メール賛歌“雨だれメール”を作詞、若者が作曲、居酒屋の小母ちゃんに歌ってもらいユーチューブにアップ、「一本指でいいのよ、一本指がいいの」とおばあちゃんのロゴがポツツンポツツンと指拍子を打っている。皆様、お目に留まったら楽しい歌ですから、どうぞ一緒に“ポツツンポツツン雨だれメール”を歌って応援してください。

高齢者は覚えるまで時間はかかりますがその応用編となると俄然人生経験が物を言い素晴らしい力を発揮します。いくつもの引出しの中で醸された経験という知恵が周囲の刺激で花開きます。華麗に加齢といきましょう。私たち、ワンモアステージ残っていますもの。

